

# 議員派遣報告書

派遣議員：岩井豊太郎、矢島成剛

派遣先：アルゼンチン、ブラジル

目的：アルゼンチン・ブラジル海外連携等調査

派遣期間：平成30年7月25日～平成30年8月1日

派遣議員：小川恒雄、加藤大博、広瀬修

派遣先：アルゼンチン、ブラジル、ペルー

目的：アルゼンチン・ブラジル・ペルー海外連携等調査

派遣期間：平成30年7月25日～平成30年8月3日

<7月26日（木） アルゼンチン ブエノスアイレス>

[若手県人会員との意見交換会]

○時間

19時～21時10分（現地時間・以下すべて同じ）

○場所

風来坊（日本レストラン・ブエノスアイレス市内）

○出席者（相手）

若手県人会員（ルナ・カルローネ・ナガタ、セバスチャン・ツジ）、県人会役員（永田マリオ会長、正副事務局長、正副会計）

## ○概要

県人会会員の方々が、3世・4世と代替わりしていく中で、どのようにしたら日本や岐阜県に愛着や興味を持ってもらえるのかや日本や岐阜県について、どのような思い・考えを持っているのかや今後、若手県人会員の方々に県人会活動に参加してもらうためには、何が必要かなどのテーマで、若手県人会員の方と意見交換をさせていただき、率直な意見を聞くことができました。その中で、出た意見として、岐阜県はもとより、日本すら行ったことがない、けれども、アニメなど興味はあるし、機会があれば訪れてみたいという意見が出ました。まずは、今行っているお互いの国を訪問することを継続することはもちろんのこと、更に強化する必要性があると感じました。



## <7月27日（金） アルゼンチン ブエノスアイレス>

### [ジェットロ・ブエノスアイレス訪問]

#### ○時間

11時50分から13時5分

#### ○場所

ジェットロ・ブエノスアイレス（ブエノスアイレス市内）

#### ○出席者（相手）

紀井 寿雄 所長

#### ○概要

紀井 所長からアルゼンチンの現状と課題について、説明をしていただき、意見交換を交わしました。

アルゼンチンという国は、10年おきぐらいにデフォルトを繰り返して、経済成長などをみても、非常に不安定な状況である。

その様な状況にあっても、実際にアルゼンチンの国民は生活に困っているということではなく、何だかんだで生活でき、不安定な状況をたのしんでさえみえる。

だから、必ずしも経済指標が実体経済を映し出しているとは言えない状態である。

豊富な食料資源を持ち、世界有数の鉱物・エネルギー産出国でもあり、日本も含めて海外からの注目も非常に高い国である。

だからこそ、政治がしっかりしてくれば、先進国と肩を並べることができる素晴らしい国になるのではないか。

現政権が2015年に誕生してから、日本・アルゼンチン両首脳の間が活発になっており、日本企業など海外からの受け入れがよくなりつつある。

資源ビジネスへの関心が、アルゼンチンでは高まっており、日本企業の技術を生かした資源分野への投資をアルゼンチンは期待している。



## [在アルゼンチン日本国大使館訪問]

### ○時間

16時20分から17時45分

### ○場所

在アルゼンチン日本国大使館（ブエノスアイレス市内）

### ○出席者（相手）

福畠 教輝 大使、古川 義一 領事

### ○概要

福畠 大使から、アルゼンチンについての基本データ、最近の情勢及び日本との二国間の関係について、説明を受けました。

中国寄りの前政権から、現マクリ政権になり、日本からの企業進出が2015年の51社から2017年には100社へ倍増している。

しかし、海外からの投資が十分ではなく、再び中国に依存する動きも出ている。

県費留学生制度は、続けるべきと言われ、アルゼンチンは、南米ではブラジル・ペルーに続く約65000人の日系社会であり、香川県人会は非日系であっても取り込み、かなり活発に活動をしているなど、アドバイスをいただきました。



## [在アルゼンチン岐阜県人会創立 45 周年記念式典・夕食会]

### ○時間

18 時 30 分から 22 時 15 分

### ○場所

ラ・ベントナ (ブエノスアイレス市内)

### ○出席者 (相手)

アルゼンチン岐阜県人会会員 (永田 マリオ会長など)、在アルゼンチン日本国大使館公使参事官 菱山 聡、ジェトロ・ブエノスアイレス所長 紀井 寿雄

### ○概要

在外移住岐阜県人功労者表彰、感謝状の贈呈、(一財)国際クラブからの寄付金贈呈が行われました。

更に、アルゼンチン出身の歌手 大城バネッサ さんによるミニコンサート、タンゴショーなどがあり、笑顔の中でお互いの親睦を深めることができました。



## <7月28日（土） ブラジル サンパウロ>

### [ジャパンハウス視察]

#### ○時間

17時45分から18時35分

#### ○場所

ジャパンハウス・サンパウロ（サンパウロ市内）

#### ○概要

平成29年5月に外務省が海外への発信強化を目的として建てられたジャパンハウスを視察。世界に3ヶ所ある中のひとつ。この施設の外観は、中津川市にある（株）中島工務店が東濃絵を使用していることを、直接、中島社長から説明を受けました。

中に入ってみると、美術館にいるような感じの部分と日本のお店にいるのとまったく変わらない部分が程よく調和して、たくさんのブラジル人で賑わい、日本並びに日本ブランドへの人気の高さがうかがえた。

商品の販売価格は、比較的に高い印象を受けましたが、それでもよく売れているように感じました。

商品の中に、岐阜市で作られた商品があり、驚きましたがとてもうれしく感じました。



### [岐阜県主催の懇談会]

#### ○時間

19時から21時55分

#### ○場所

ニッケイパレス（サンパウロ市内）

### ○出席者（相手）

ブラジル岐阜県人会関係者（長屋 充良 会長など）、在サンパウロ総領事 野口 泰、ブラジル都道府県人会連合会会長 山田 康夫、ブラジル日本文化福祉協会会長 呉屋 新城 春美、サンパウロ日伯援護協会会長 与儀 昭雄、サンパウロ市議会議員 野村 アウレリオ

### ○概要

ブラジル岐阜県人会創立 80 周年記念式典を翌日に控え、ブラジル岐阜県人会の役員をはじめとする関係者と今回、岐阜県から訪れている関係者が一堂に会し、記念式典の成功を願いつつ、和やかな空気の中、お互いの親睦を図ることができました。



## <7月29日（日） ブラジル サンパウロ>

**[ブラジル岐阜県人会創立80周年・岐阜県人ブラジル移住105周年・岐阜県農業高校生海外実習派遣40周年記念式典・記念祝賀会]**

### ○時間

10時から14時30分

### ○場所

ブラジル広島文化センター（サンパウロ市内）

### ○出席者（相手）

ブラジル岐阜県人会関係者（長屋 充良 会長など）、在サンパウロ総領事 野口 泰、ブラジル都道府県人会連合会会長 山田 康夫、ブラジル日本文化福祉協会会長 呉屋 新城 春美、サンパウロ日伯援護協会会長 与儀 昭雄、サンパウロ市議会議員 野村 アウレリオ 他多数

### ○概要

在外移住岐阜県人功労者表彰、感謝状の贈呈、一般財団法人 国際クラブからの寄付金

贈呈のほか、アルゼンチン出身で現在は岐阜を拠点として日本で活躍している 大城バネッサさんによるミニコンサート、更には、岐阜県農業高校生による寸劇などが披露されました。世界有数の日本からの移住人口が多い国ですので、当日は、200人を超える参加者があり、大変な盛り上がりでした。



## [ブラジル若手県人会員との意見交換会]

### ○時間

16時30分から17時45分

### ○場所

ニッケイパレス（サンパウロ市内）

○出席者（相手） ブラジル岐阜県人会役員、若手県人会員

### ○概要

他の在外県人会と同様に、県人会会員が3世、4世へと代替わりしているなかで、日本や岐阜県に対する意識や愛着をどうしたら持ち続けることができるのか、また、そのためには、どのような取り組みが必要かをテーマとして、若手県人会会員の皆さんと意見交換を行いました。

岐阜県人会活動について、イメージとして堅苦しさがあり、若い人たちが参加しづらい雰囲気を感じる。県人会会長が若い長屋会長に交代したので、これからは期待しています。などといった意見が聞かれました。

今後、どのような取り組みが必要かについては、日本に対しては、アニメや漫画などといったイメージがあり、こういったカテゴリーを取っ掛かりとした交流が必要ではないか。という意見が聞かれました。また、農業高校生からは、スポーツや音楽などの同じ価値観を共有できる分野での交流をしていったらいいのではないか。という意見も聞かれました。

その中で、3世・4世と歴史を重ねることにより、どうしても日本語を理解できない人たちが増えてきているという問題やブラジルという国は、国土が広すぎるため会合を開く

にしても大変な点があり、どうしてもサンパウロ市内を中心とした県人会会員になってしまう傾向があるなどという悩みもお聞きすることができました。



### **[県人会主催の懇談会]**

#### **○時間**

19時10分から21時20分

#### **○場所**

シュラスカリア（サンパウロ市内）

#### **○出席者（相手）**

ブラジル岐阜県人会関係者（長屋 充良 会長など）、在サンパウロ総領事 野口 泰、ブラジル都道府県人会連合会会長 山田 康夫、ブラジル日本文化福祉協会会長 呉屋 新城 春美、サンパウロ日伯援護協会会長 与儀 昭雄、サンパウロ市議会議員 野村 アウレリオ

#### **○概要**

当日の、記念式典参加者を中心とした岐阜県人会主催の懇談会に参加しました。今回のブラジル訪問団の一人一人に対して一言ずつコメントを求められ、私は「短い期間ではありましたが、長屋会長はじめ岐阜県人会会員の皆さまの温かみに感謝するとともに、課題や問題も分かり、ブラジル岐阜県人会の応援団として頑張ります。」とコメントさせていただきました。

そのほか、県農業高校生海外実習派遣団に合唱のリクエストがあるなど、お互いの交流を一層深めるとても有意義なものとなり、あっという間で、時間が短く感じる程のとてもいい懇談会でした。



## <7月30日（月） ブラジル サンパウロ>

### [サンパウロ市内視察]

#### ○時間

11時から16時30分

#### ○場所

サンパウロ市内

#### ○出席者（相手）

ブラジル岐阜県人会関係者（長屋 充良 会長など）、ブラジル都道府県人会連合会会長 山田 康夫、ブラジル日本文化福祉協会会長 呉屋新城 春美

#### ○概要

イビラプエラ公園内にある移住日本人先没者慰霊碑を参拝し、献花をしました。

イビラプエラ公園内の日本館を（株）中島工務店の中島社長の案内で、視察。この日本館は、中島工務店さんが無償で修復作業を行なったとお聞きし、岐阜県の企業であることもあり、うれしくもまた、誇らしくも感じました。

日系ブラジル人が多く住み、日本風の建造物も多いリベルタージ（とうようじんがい）を視察。何となく、心が落ち着く感じがしましたが、ここ近年は、中国系の人があらゆるエリアに広がりを見せているという現状もお聞きしました。

最後に、サンパウロ市最大の食料品市場である、サンパウロ市営市場を視察。種類の多さ、置かれている量、更に値段の安さなどに驚かされるばかりでした。世界でも有数の人口が多い国の将来性を垣間見た気がしたのと同時に、インフラが整った時のブラジルという国の潜在能力の高さを感じました。



<7月31日（火） ペルー リマ>

**[天野プレコロンビアン織物博物館視察]**

**○時間**

15時35分から16時50分

**○場所**

天野プレコロンビアン織物博物館（リマ市内）

**○出席者（相手）**

天野 美代子（天野 芳太郎 氏の妻）

**○概要**

日本人実業家 天野芳太郎さんのコレクションの展示を、妻の天野美代子さん出席のもと、視察。この博物館は、特に西暦1000～1400年ごろに栄えたチャンカイ文化の織物を所有していることで、世界的に高く評価されています。

はるか昔に織るということだけではなく、色の鮮やかさ・綺麗さ・デザイン性を兼ね備えた技術や能力の高さにとても驚かされました。

本来ならばボロボロの状態であってもおかしくない織物ですが、ペルーという国は、湿度が低く、降雨が少ない気候により、1000年以上も前の織物が素晴らしい状態で残っていたと説明を受けました。そして、砂地地帯が多く、砂の中にあったことも風化や太陽の光による色の劣化を防ぐことになったともお聞きしました。



## [ペルー日系人協会表敬訪問・日本人移住資料館視察]

### ○時間

17時から18時55分

### ○場所

日秘文化会館（リマ市内）

### ○出席者（相手）

ペルー日系人協会会長 エドゥアルド・ヤマウラ・モリシタ

### ○概要

ペルー日系人協会会長の案内により、日本人移住資料館を視察。資料館内はとても綺麗で、日本人が初めてペルーに来た時からの歴史を分かりやすく展示物を交えながら紹介がされていました。資料の中で、沖縄県からの移住人口が群を抜いて多いことが分かり、そのまま現在の日系ペルー人において、沖縄県人会が最大であることも説明をしていただきました。とにかく、約100も前からの物がきれいな状態で残っているのを見たとき、遠く離れたペルーに来て、いつも母国日本のことを思っていたのだなあ、改めて、感じる事ができました。



## [ペルー岐阜県人会創立35周年記念式典]

### ○時間

19時30分から22時30分

### ○場所

日秘文化会館（リマ市内）

### ○出席者（相手）

ペルー岐阜県人会会員、駐ペルー日本国大使 土屋 定之、参事官 高木 昌弘、書記官兼領事 大橋 建男、日系人協会副会長 ノルベルト・ホサカ 他

### ○概要

在外移住岐阜県人功労者表彰、感謝状の贈呈、(一財)国際クラブからの寄付金贈呈のほか、アルゼンチン出身 地元岐阜を拠点として活動している 大城バネッサさんによるミニコンサート、ペルーの民族舞踊、郡上踊りや日本舞踊などが披露されました。その中で、郡上市出身の野島 副議長が飛び入りで郡上踊りを一緒になって踊り、和やかな雰囲気と一層の親睦をはかり、交流を深めることができました。



## <8月1日（水） ペルー リマ>

### [在ペルー日本国大使館表敬訪問]

### ○時間

16時から17時10分

### ○場所

在ペルー日本国大使館（リマ市内）

### ○出席者（相手）

駐ペルー日本国大使 土屋 定之、書記官兼領事 大橋 建男

## ○概要

土屋 駐ペルー日本国大使から以下のようなペルーの情勢についての説明をしていただきました。

ペルーには中国人が約300万人在住しており、日系人10万人と比較して非常に多い。太平洋に面しているため、漁業が盛ん。

ペルーに進出している日系企業としては、味の素、パナソニック、ホンダなどが挙げられます。

ペルーの輸出の半分は鉱物であり、現在は銀が非常に好調で、GDP 8～9%増という経済成長を支えている。

日系人の中では沖縄県人会の活動が活発であり、このような状況は、ブラジル、アルゼンチンも同様であると聞いている。

政治的な面では、ペルー、アルゼンチン、チリといった南米の主要国で、選挙が予定されており、その動向に注目している。

日本との関係については、国連の非常任理事国になった際には、日本に協力的な姿勢を示すなど非常に友好的な関係である。

ペルーにおける社会問題として、若くて能力のある人の活躍の場がないことが挙げられ、優秀な人はアメリカに職を求めて出て行ってしまふ。

国内における貧富の格差が大きいことも問題。

(セキュリティ上の関係により写真撮影不可であったため、写真の添付はなし)

## まとめ

今回、ブラジル、アルゼンチン、ペルーと南米の3か国を訪問し、各県人会の創立記念式典に参加、各国の県人会の活動状況や今後に向けての意見交換をさせていただき、どうしたら今後もお互いのためになるように続けることができるのかという、たくさんのヒントをいただくことができました。

更には、各国の情勢をお聞きすることにより、日本と南米各国、南米各国と岐阜県がどのように結びついていくべきなのか、またお互いの強みと弱みが何なのかなど、たくさんの学びがありました。

アルゼンチン、ペルーでの共通した考えとして、ブラジルの大統領選挙で誰になるのか、が一番注目しているということでした。昔からよく、ブラジルが風邪をひくと南米の各国が風邪をひくと言われていますが、そのことを、実感することができました。やはり、世界有数の人口を持っている国だからこそ、ブラジルが南米各国に与える影響の大きさを感じました。

そのことを踏まえて、岐阜県としては、まず、ブラジルに拠点を作り、そこから南米各国に拡げていくことがいいのではないかと感じました。今回、ブラジルの岐阜県人会会

長も新しく長屋会長に変わり、長屋会長からも、事務所の提案・ブラジルで毎年開催の日本フェスティバルへの協力要請などのお話がありました。

今回、ブラジル訪問時、岐阜県から、ブラジルで岐阜県フェアを開催するという情報提供がありました。しかし、そのことを、事前に知っていた県人会をはじめとした各種団体の方は、いませんでした。たいへん私自身もその状況に驚いたわけですが、もっと各国の県人会や文化協会などの方々と情報共有すべきであり、各種団体のネットワークを利用させていただくべきと、強く感じました。このことは、ブラジルだけではなく、今回、訪問したアルゼンチン、ペルーでもいえることではないかと考えます。

最後に、約 5 年ぶりに父親の同級生に会うことができ、そのことを現地の新聞記事に取り上げていただいたことが、とてもありがたく、このような交流をもっとたくさんの方々に広げていきたいと考えています。